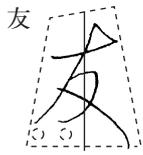


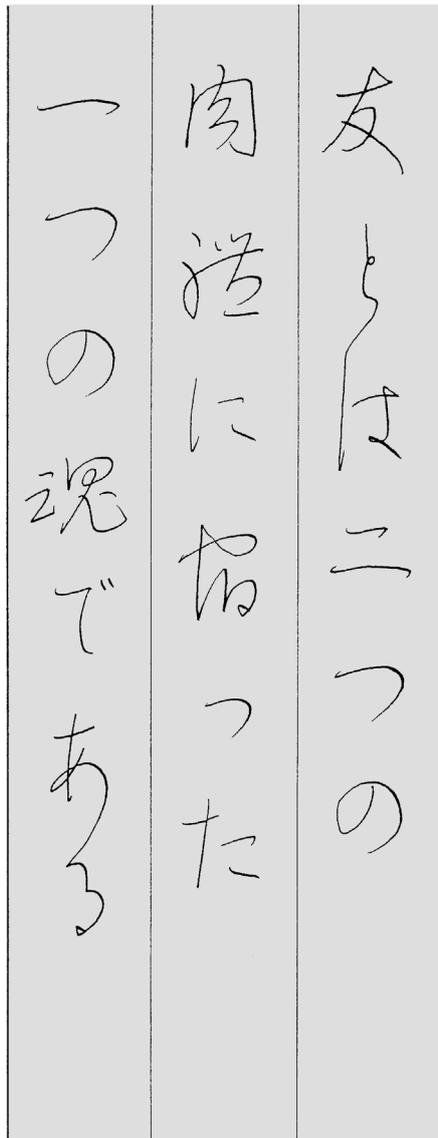
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▽草書は線が大部分曲線的になって丸み加わり、字形はふっくらと円形を帯びています。
▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

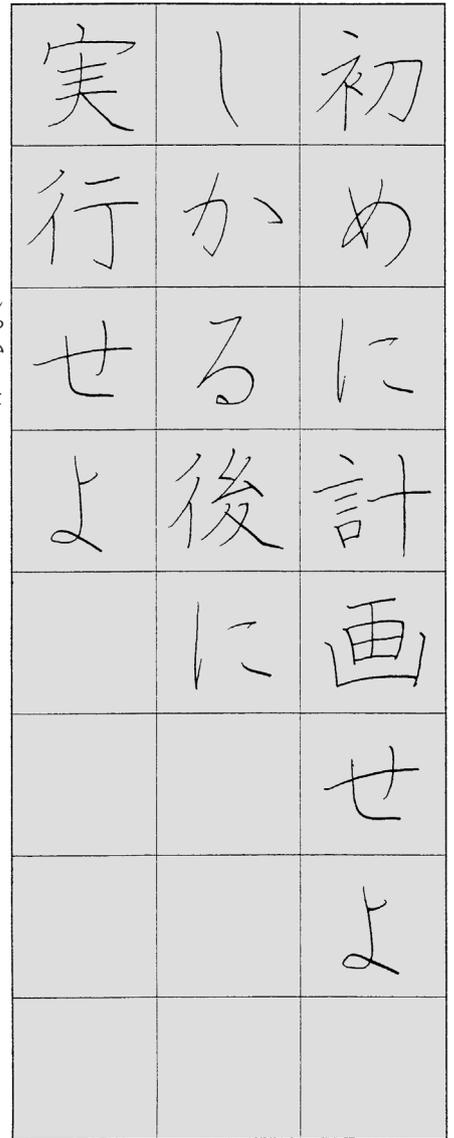
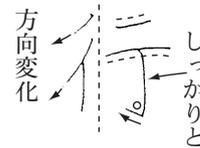
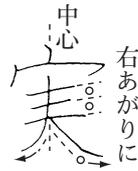
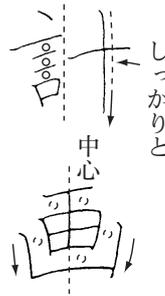


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級用紙

▼教範・書範||行草または草書
▼師範||行書

歩きまわる影法師
あわれな役者だ

◆6月課題予告(楷書)

人生は
★友とは：(書体||行草または草書)
アリストテレス(前三八四〜前三三四)
古代ギリシャの哲学者
アリストテレスの友情についての箴言の中で、最も光ったものの一つでしょう。友情と一口に言っても様々な段階があります、真の友情は、諸条件や順境か逆境かなどに左右されることのない、魂の強い結び付きなのです。

◆6月課題予告(行書)

人間は
道具を使う
動物である

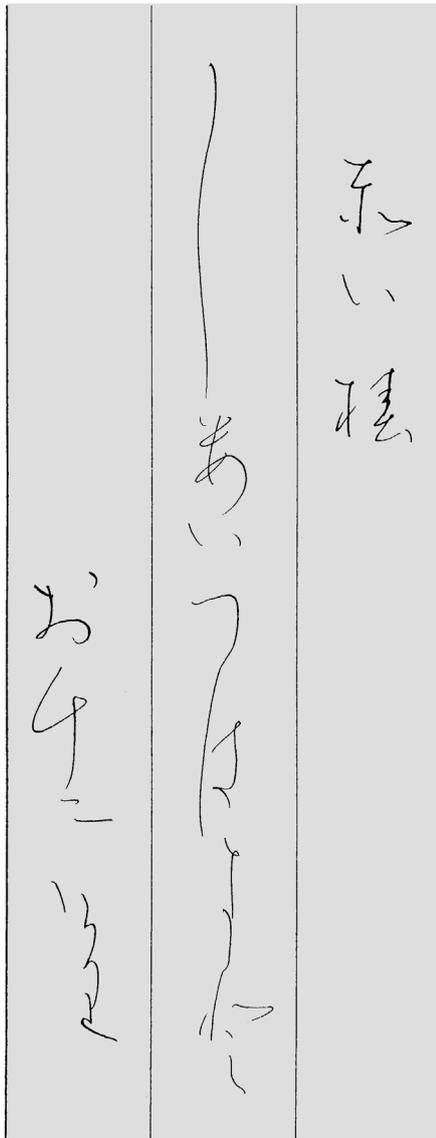
★初めに：(書体||楷書)
モルトケ(一八〇〇〜一八九九)
プロイセンの将軍・参謀総長
戦術家としての天才的手腕を発揮した將軍の言葉ですが、仕事や社会生活でも役に立つ内容です。
事を成そうと思えば、まずはきちんとした計画を立てることが肝腎です。その上でしっかりと実行していけば成功へとつながっていくのです。

一般部かな課題

締切り 5月25日(必着)

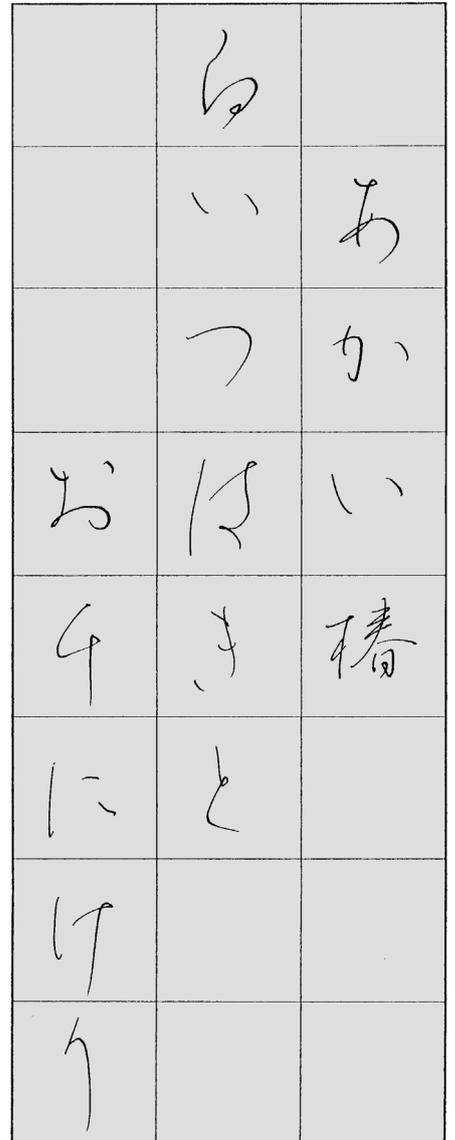
準初段から六段まで

新入から1級まで



赤い椿白い椿と落ちにけり

赤い椿白い椿と落ちにけり



■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

おお みや しゅん ちよう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

おお みや しゅん ちよう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆6月課題予告

研(こ)して山時鳥(やまときどり)ほしいまま

(杉田久女)

登(と) 委(ろ) 里(り) 介(け) 千(ち) 登(と) 委(ろ) 里(り) 介(け) 千(ち) 登(と) 委(ろ) 里(り) 介(け) 千(ち)

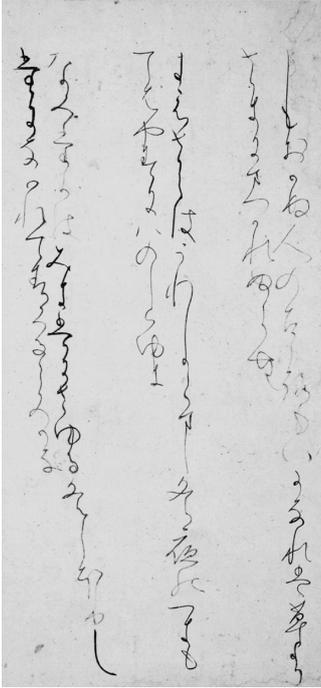
〔古筆参考〕

赤い椿白い椿と落ちにけり
(河東碧梧桐)

〔句意〕赤い椿の木、白い椿の木の根もとにはそれぞれまっ赤な花と、まっ白な花とが落ちたまま重なっていて、まことに艶(えん)な美しさを見せていることである。

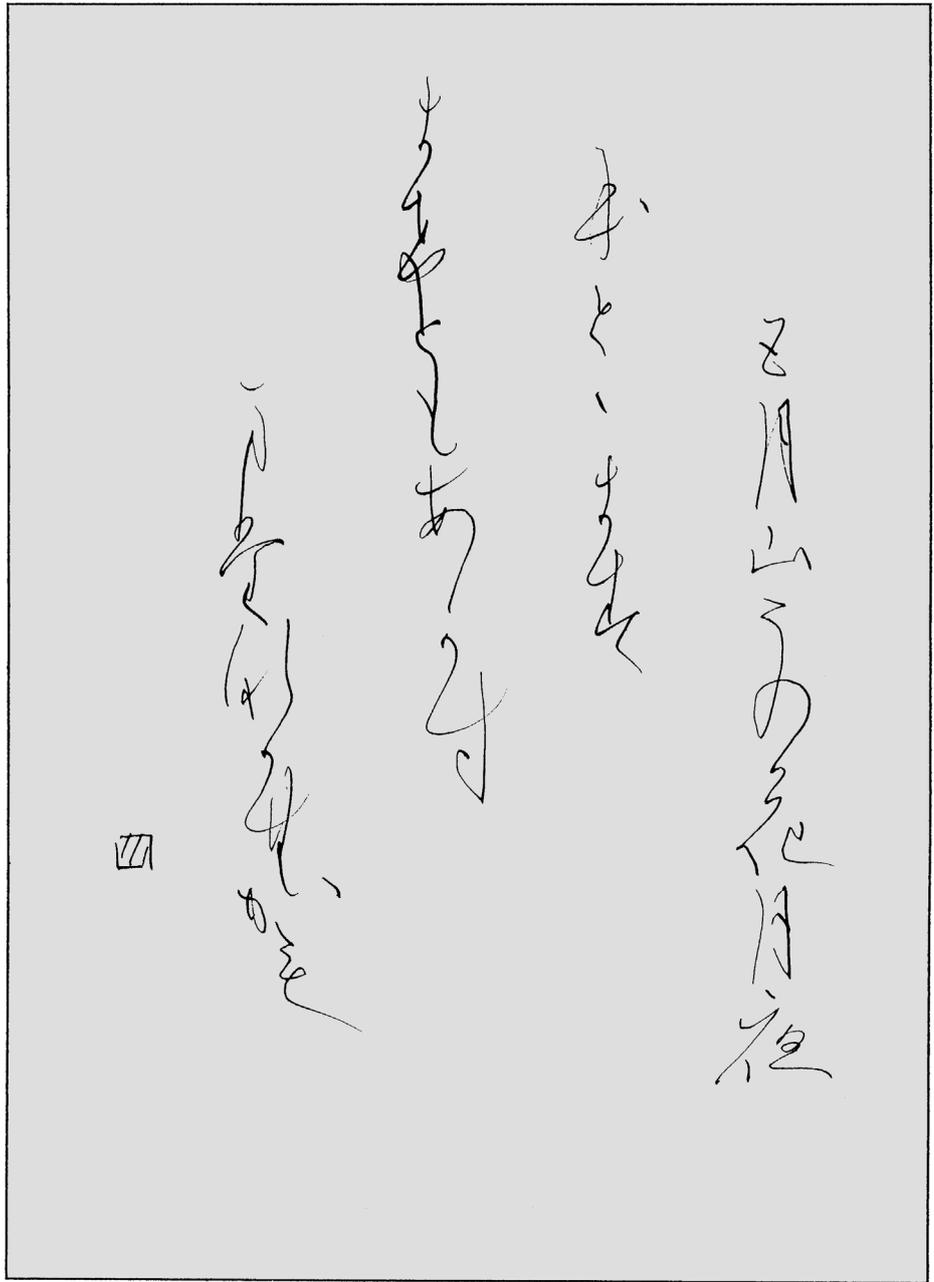
〔古筆参考〕

針切



しもおかぬ人のころもいかなれば草より
 さきにまづかれぬらむ
 きえざらばうれしからまし冬夜のつきも
 てはやすにはのしらゆき
 なみだがはみぎはにさゆる冬ごほりし
 たにながれてすぐるころかな

締切り 五月二十五日(必着)



築瀬舟香書

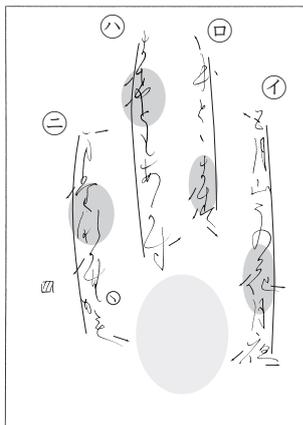
五月 山卯の花月夜ほととぎす
 さつき 支希寸万堂那可無毛
 聞けどもあかずまた鳴かむかも
 読人しらす

〔歌意〕五月の山で、卯の花が白く咲いた月夜に一声鳴いたほととぎすは、いくら聞いても飽きないよ。また鳴くだろうか。

〔出典〕新古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



①と②、①と③、②と④、③と④呼
 應。

● 墨の動き。

● 密を作る技法として①複雑形の文字
 を使う ②太い線にする、等があり
 ます。

○ 大きな間大切。

∟ 線の方向は作品をしめる役割を果
 たしています。

針切の特徴 (二)

先月号で「自由奔放に書かれている。」
 と申しましたが、あくまでも基本をしつ
 かり学んだ上での自由であると云う事
 を申し上げます。

(参考資料) 同朋舎版針切

◆ 6月課題予告

ほととぎす声待つほどは片岡の
 もりのしづくに立ちやぬれまし

(紫式部)

締切り 5月25日(必着)

新しい職場にも、一人暮らしにも慣れ、少し落ち着いて来ました。でも日々の食事や、掃除に洗濯とお母さんの大変さが良く分かり、感謝の気持ちで一杯です。週末は帰ります。色々教えて下さいね。

新しく職場にも、一人暮らしにも慣れ、少し落ち着いて来ました。でも日々の食事や、掃除に洗濯とお母さんの大変さが良く分かり、感謝の気持ちで一杯です。週末は帰ります。色々教えて下さいね。

◎手本は水性ボールペン使用

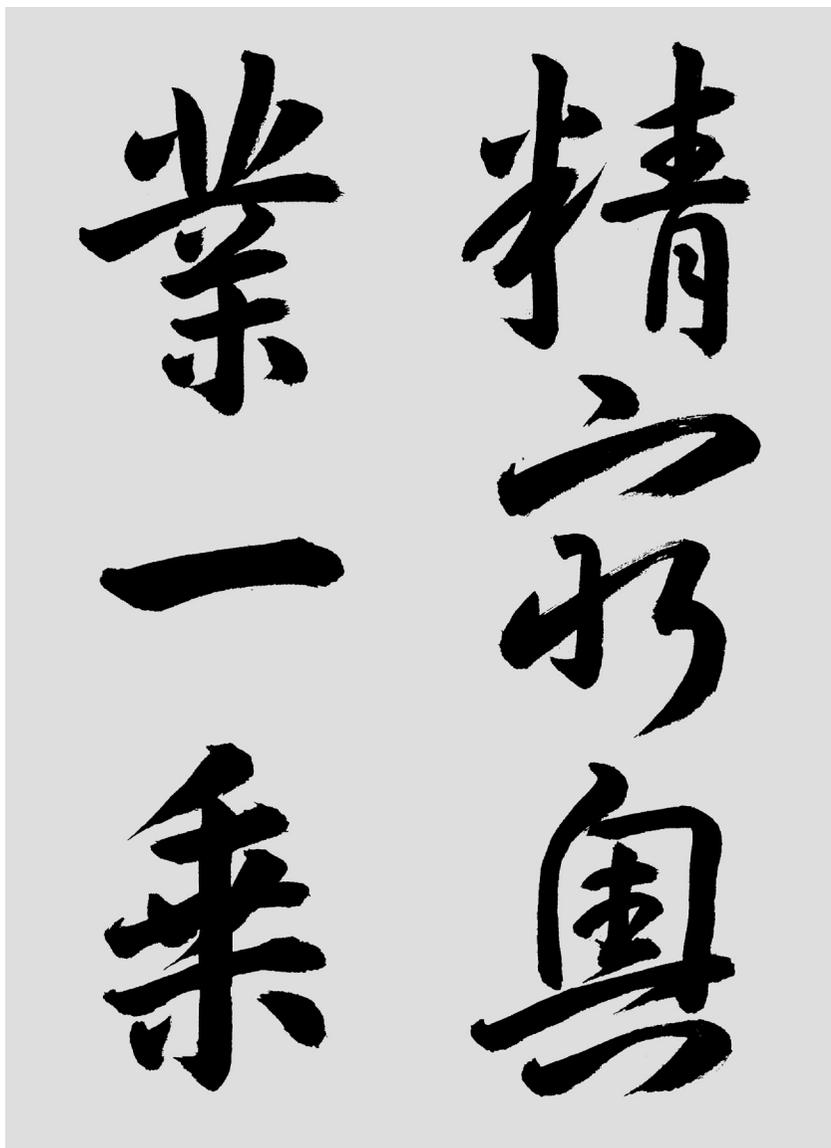
作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

季節風はモンスーンともいわれ、
1年を周期として方向を変える。
宮崎県えびの市 氏 名

*手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。



準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕集字聖教序（672）〔筆者〕王羲之法書より集字
〔読み〕奥業を精窮し、一乗（五律の道は、）



新入から1級まで (楷書)

澤静雨書

〔読み〕仁親以て宝と為す
〔大意〕仁愛を守ることを宝とする

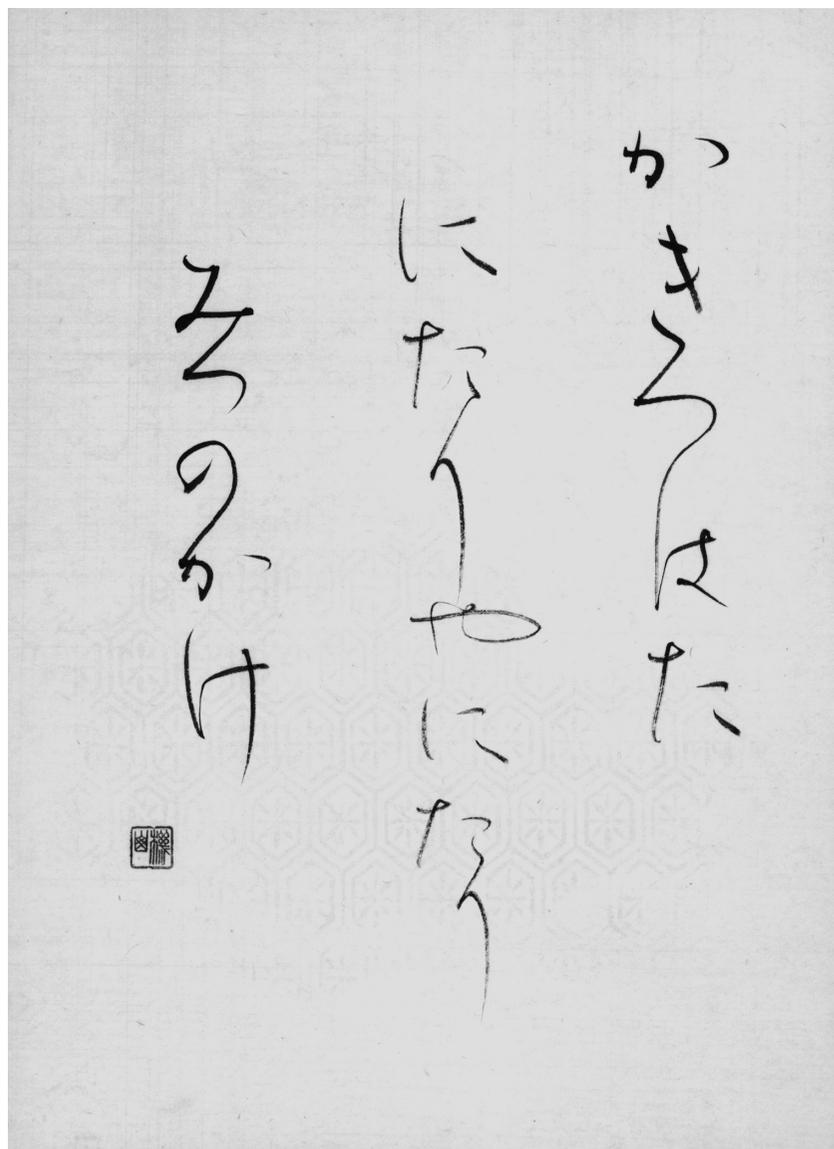


精
窮
奥
業
一
乘

一般部毛筆かな課題

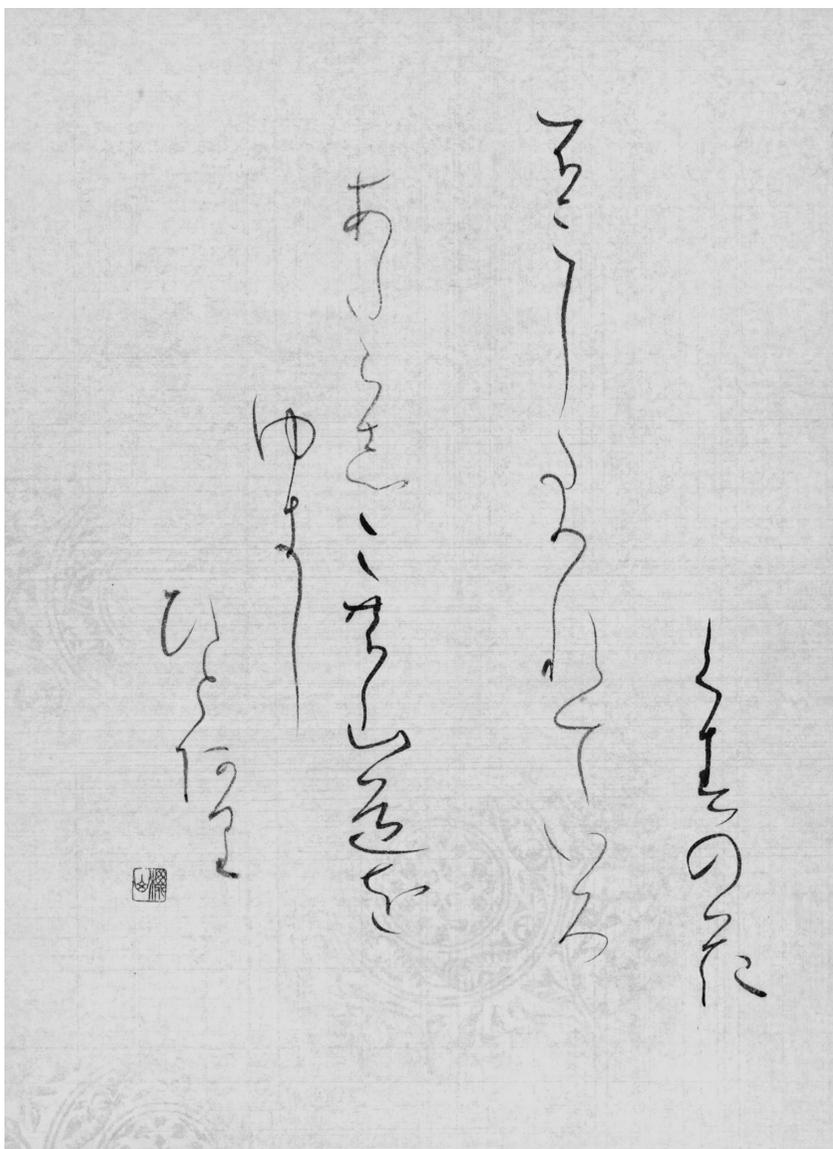
締切り 5月25日 (必着)

新入から1級まで



浅井機山先生書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

葛の花踏みしだかれて色あたらし
この山道を行きし人あり

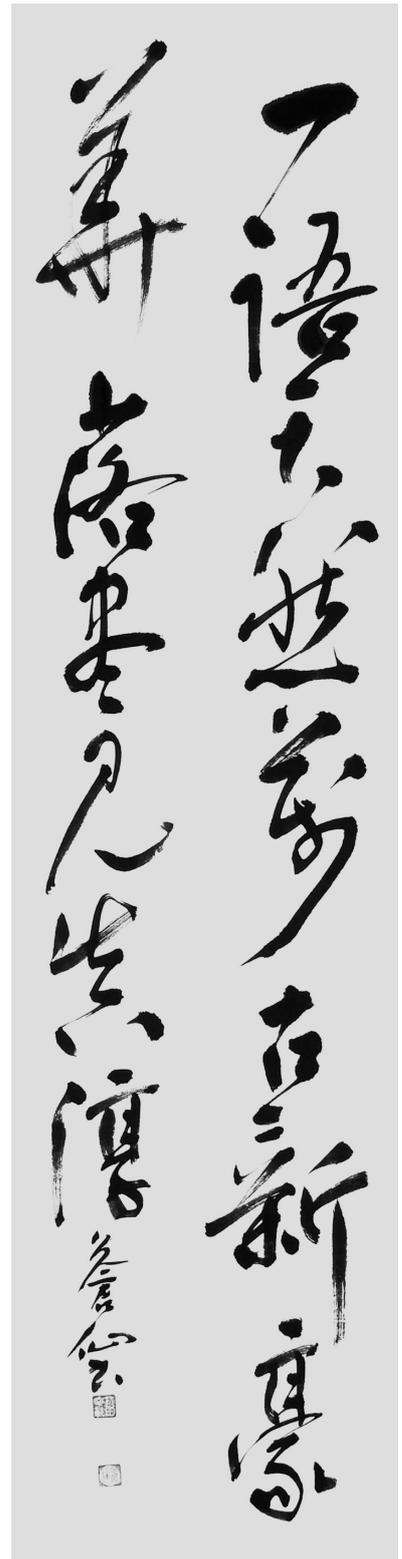
〔出典〕 積 迢空

〔歌意〕 葛の花が、ひっそりと人影もない島の山道に、踏みにじられて鮮やかな色を見せている。ああ、この島山の道を自分より少し先に歩んだ人があるのだ。

〔出典〕 松尾芭蕉

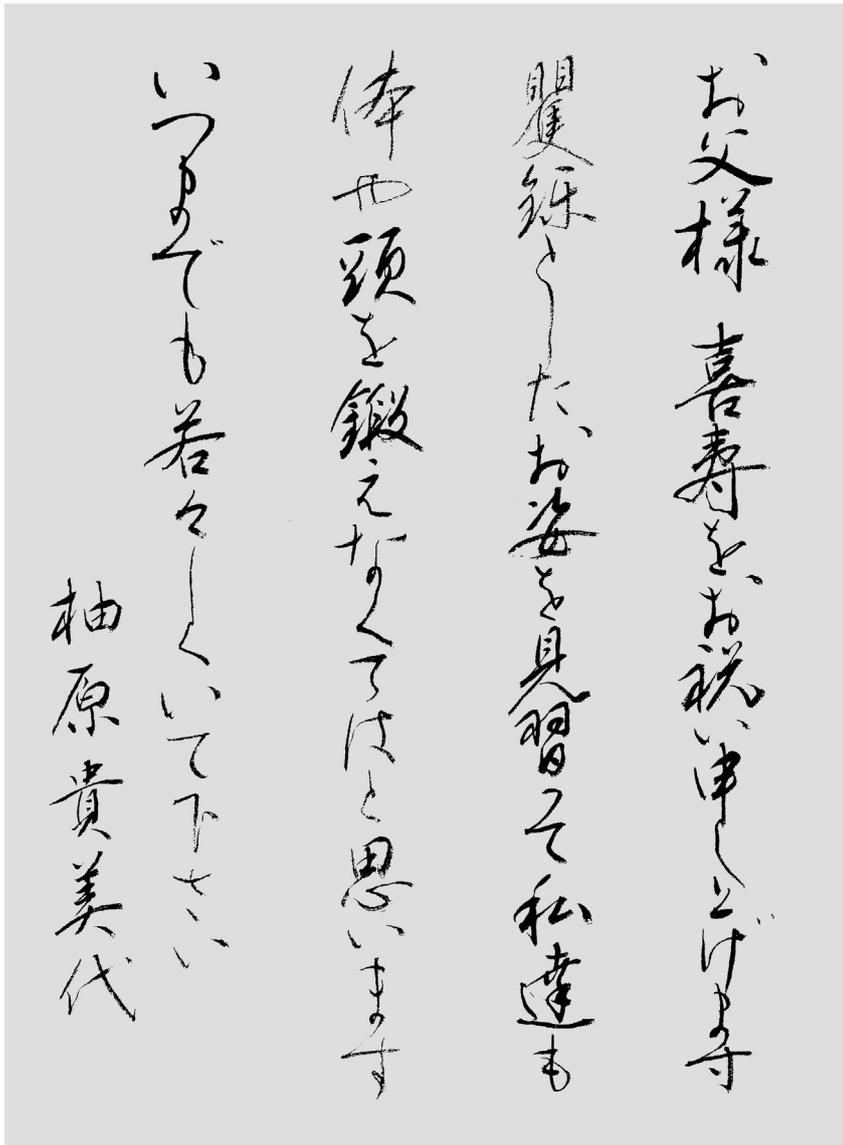
〔句意〕 謡曲「杜若」の「～似たりや似たり杜若花菖蒲」の詞章をとっている。水にうつった杜若の影と杜若の花とが、そっくり似ている、の意。

締切り 五月二十五日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)



荻田蒼仙書

【大意】自然な一語が永遠に新鮮、豪華をすっかり落して純粹の真実が現れる。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。



書 華 玲 田 樋

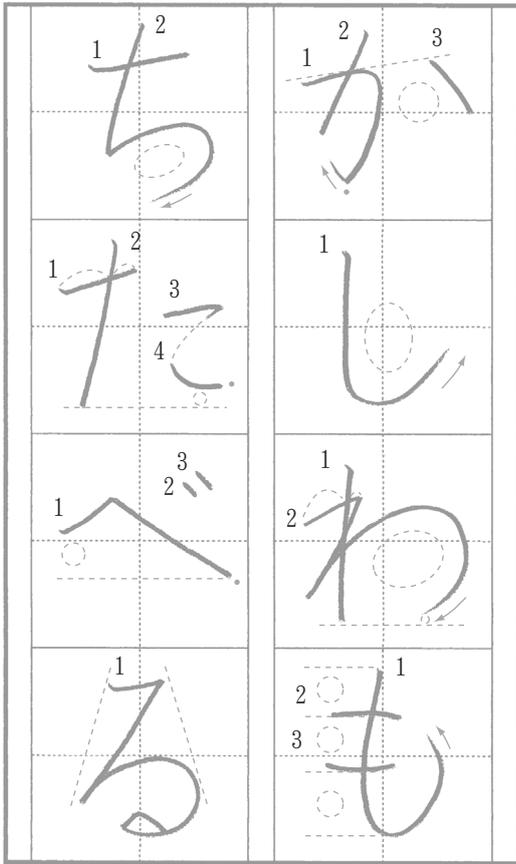
半紙(334mm×240mm)

- 印で墨つぎしました。
- 〔条幅・細字作品の出し方〕
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅解説〕一度に二十曲、三十曲歌っても上達しない。一節一節を大切に正確に歌うことです。多字数も結構ですが七言二句以内位で強い線とは？よい形とは？……しっかり身につける事です。教育書道とは筆使いが違うことを知って下さい。即ち両方の筆使いを学んで下さい。折角の地区講習を活用して下さい。

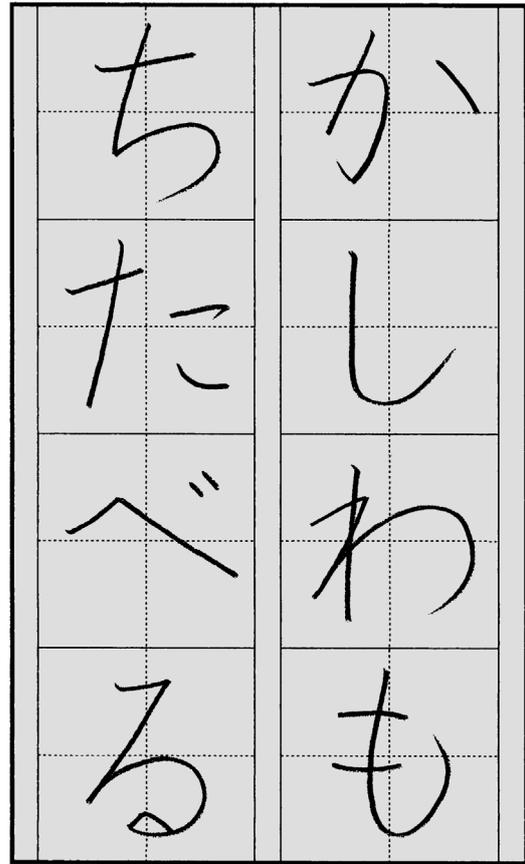
お父様喜寿をお祝い申し上げます
豊饒としたお姿を見習って私達も
体や頭を鍛えなくてはなりません
いつまでも若々しくして下さい
(ご自分の氏名)

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)



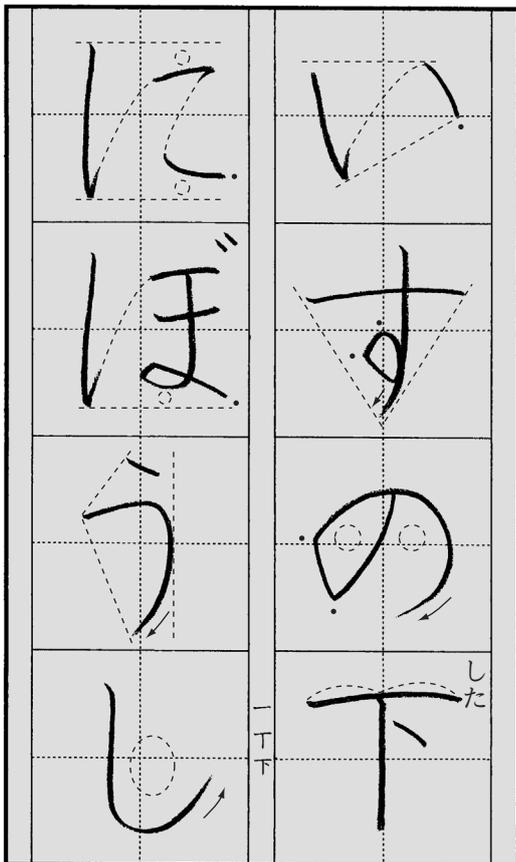
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



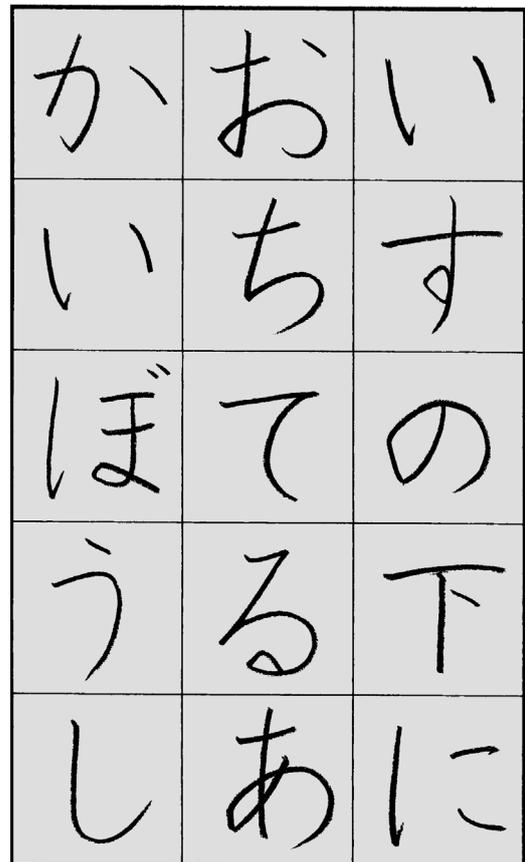
よ
う
年

幼年〜小三年
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)

か	みっ 三
り	か 日
た	まえ 前
本	に

新入 1級

本	り	三
を	た	日
か	人	前
え	魚	に
す	の	か

準初段以上

小 二 年

準初段以上

色	き 木
の	ぼこ 箱
お	に
皿	くろ 黒

新入 1級

皿	い	木
が	黒	箱
五	色	に
ま	の	美
い	お	し

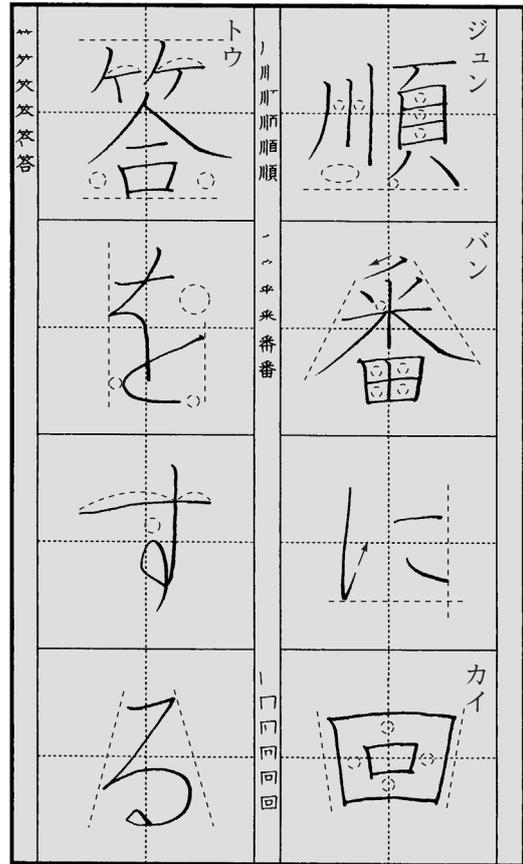
準初段以上

小 三 年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小 四 年



(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- * 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、いじけないよう、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- * 六月締切り分までは、この方法を続けます。
- * ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習をしましょう。
- * 七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

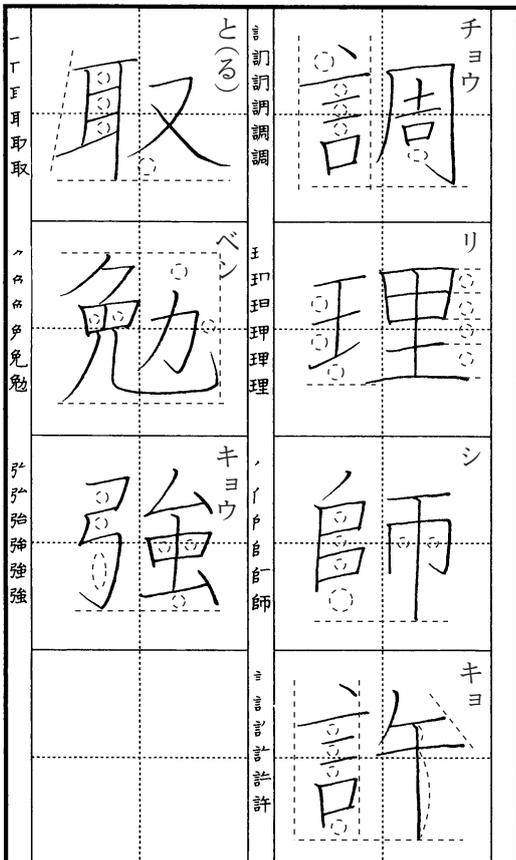
小 五 年



(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四以上 須田一葉書

小六年

に	試	野
行	合	球
き	を	の
ま	観	親
す	戦	善

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

シ	ヤ
試	野
あ	キユウ
合	球
カン	シン
観	親
セン	ゼン
戦	善

自由(黒色に限る)

中一年 (楷書)

参	活	地
加	動	域
す	に	の
る	毎	奉
兄	月	仕

中二・三年 (楷書)

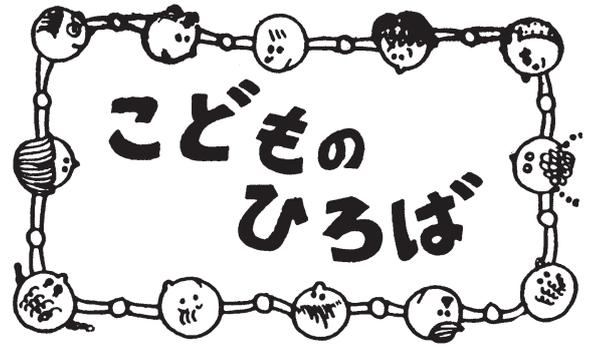
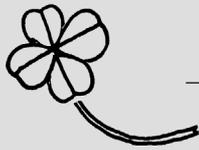
夢	験	姉
の	に	は
獣	合	国
医	格	家
に	し	試

◎お手本は、つけペンで書きました。

▼小三年以下の課題 ふく しま ゆう こう 福 島 有 光 書

し	本 ^{ほん}	ク	四 ^よ	土 ^ど
お	に	ロ	つ	手 ^て
り	は	ー	葉 ^は	で
に	さ	バ	の	見 ^み
し	ん	ー	つ	け
た	で		け	た
た				
よ				

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 5月25日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 いの うえ さい よう 井 上 彩 葉 書

お	猫 ^{ねこ}	気 ^き	車 ^{くるま}	晴 ^は
昼 ^{ひる}	が	持 ^も	の	れ
寝 ^ね	ウ	ち	上 ^{うへ}	の
日 ^び	ト	良 ^よ	で	日 ^ひ
和 ^{より}	ウ	さ		は
	ト	げ		
		に		

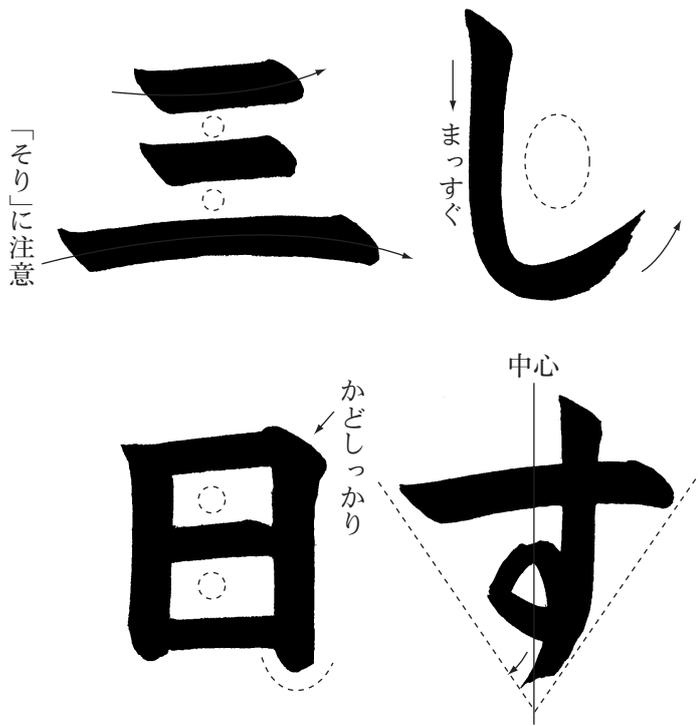
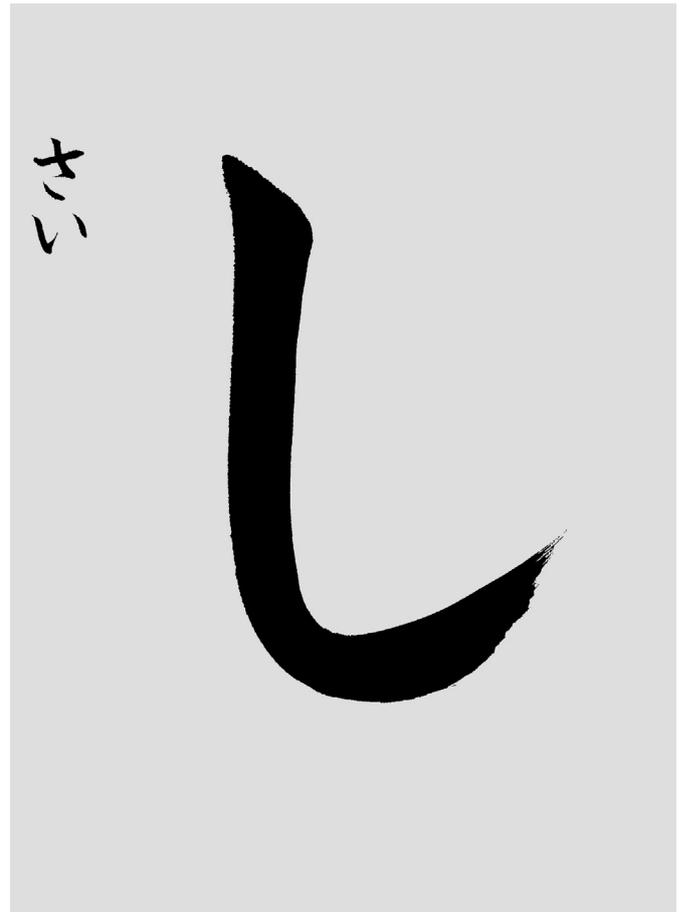


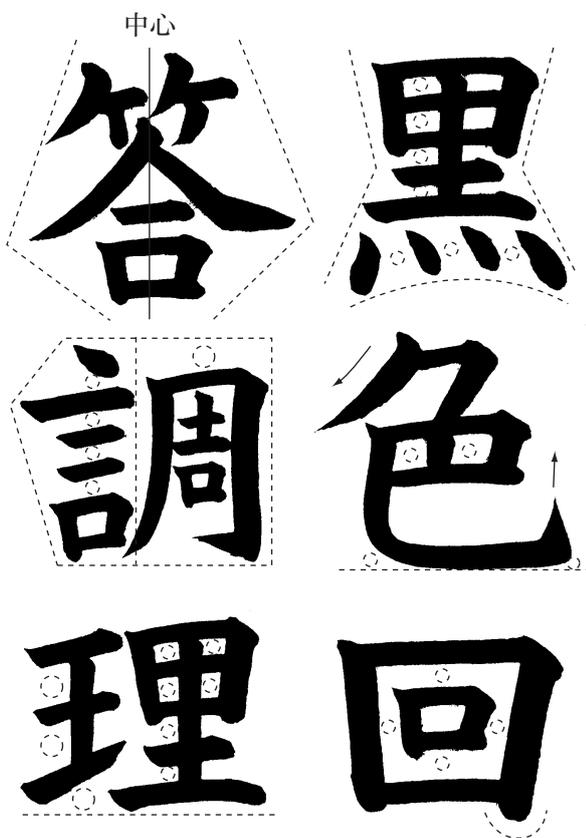
◎お手本はつけペン使用

※日和＝単語としてこのように読みます。

- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。







小三、小五年

水野香竹書

中二・三

試験

小六・中二・三年

奥村暢之書

小六

野球

中一

活動

動	野
試	球
験	活

忘れないよう